

当院も医療体験セミナーに参加 医師らが模擬診察や気管挿管など紹介

地域医療の理解促進や将来の医療従事者育成を目指した福島県教委の「ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業」における医療体験セミナーは、敬老の日の9月18日(月)、郡山市のビッグパレットで開かれ、県内の中学生らが医療への理解を深めました。

昨年、次に2回目のセミナーには、県内各地から将来医師や看護師などを目指す中学生約450人が参加。総合南東北病院はじめ22の医療機関や団体、医療機器メーカーが仕事の内容や機器を紹介するブースを出展しました。

午前中は「孤高の外科医vsチーム医療」高度な外科手術の現場から」をテーマに福島県立医科大学の木村隆教授と中学生たちが医療について意見を交換。午後からは生徒たちが各出展ブースを巡り、医療機関や企業の現場で実際に働く医師や職員たちから仕事



気道を確保する気管挿管に挑戦する中学生たち



治療室を視察する前原代表（左から3人目）

民進党の前原代表らが来院 南東北BNCI研究センターを視察

前原誠司民進党代表らが9月11日(月)、郡山市の総合南東北病院を訪れ、昨年1月から治験実施中の南東北BNCI研究センターを視察しました。同市の産業技術総合研究所(産総研) 福島再生可能エネルギー研究所や同市に避難している富岡町民の仮設住宅視察の途

の内容などについて説明を受けていました。

「医師体験」を担当した当院からは医師や看護師ら8人が参加。模擬診察や画像診断、緊急時の気道確保に必要な気管挿管、聴診、ガウンテクニクなどの体験5コーナーで病気診断や治療の仕方などを分かりやすく紹介・説明しました。各コーナーとも列をつくる

中に訪れました。

一行は前原代表のほか小川

内閣官房の鎌田次長(健康医療戦略室)らも視察 今後の医療技術の見通しなど意見交換

内閣官房健康・医療戦略室の鎌田光明内閣審議官兼内閣官房健



高井センター長から説明を受ける鎌田次長(中央左)ら

ほどの人気ぶり。緊張しながら順番待ちしていた生徒たちは、自分の番になると熱心に質問したりメモを取っていました。体験を終えた中学生たちは「患者さんから症状を聞きだすのが難しかった」「心臓の音にもいろいろな種類があつて興味深かった」などと目を輝かせて話し、医療への関心の高さを見せていました。

淳也党役員室長、神山洋介党常任幹事、篠原孝党選対委員長代理(いずれも衆議院議員)、本県選出の増子輝彦参議院議員ら5人。午前11時に来所した一行は渡邊一夫脳神経疾患

康・医療戦略室次長ら同戦略室の一行が10月3日(火)午後、郡山市の南東北BNCI研究センターを訪れ、ホウ素中性子捕捉療法の治療を実施中の施設を視察しました。同戦略室は、世界最先端の医療技術・サービスを実現し、健康寿命世界一を達成するために必要な医療・医薬品・医療機器などの産業を育成・支援するため平成25年2月、内閣官房に設置された組織です。鎌田次長はじめ小川壯次長、大坪寛子参事官ら一行6人は、同市の「ふくしま医療機器開

研究所理事長、吉本高志最高顧問らの出迎えを受け、同研究所2階会議室で高井良尋同センター長から最先端のがん治療法のBNCI(ホウ素中性子捕捉療法)について治療法の原理や仕組み、効果などについて説明を受けました。

この後、前原代表ら一行は、高井センター長の案内で地下1階の加速器・サイクロトロン装置や治療室を見学しました。国内外から視察が相次いでおり、治験も順調な難治性再発がん、進行がんにも有効とされる最先端のBNCIシステムに前原代表らは熱心に視察していました。

発支援センター」を視察した後、BNCI研究センターに来所。渡邊一夫理事長や吉本高志脳神経疾患研究所最高顧問ら幹部の出迎えを受けた一行は、同センター2階で高井良尋同センター長からBNCIの仕組みやシステムなどの概要、昨年1月から進められている治療の状況について説明を受けました。

この後、施設の模型はじめ地下1階にある病院では世界初の加速器を使ったサイクロトロン装置、効果が期待される再発がんや難治性がんなどの治療室を見て回りました。視察後、2階会議室で今後の医療技術の見通しなどについて意見を交換しました。